

## 市庁舎は、停電時でも業務が行えるのか

自家発電装置があるので、一定の業務が行える



岡本 禎稔  
自民クラブ

### 台風の被害と災害対策について

**問** 台風による停電時、道路の信号機が消灯していたが、警察との連携は。

**答** 田原警察署と災害時に連絡をとり、市の災害対策本部員会議に出席してもらい、情報共有を図っている。

**問** 信号機の停電対策は。

**答** 警察官の交通整理が中心。自家発電機を利用して電源供給できる信号機は、市内に数か所ある。

**問** 信号機の停電対策として、電池式の信号機電源付加装置が1基約130万円で整備できるとのことだが、主要な交差点に整備する考えは。

**答** 今回の停電を受け、県としても信号機の停電対策を検討していると聞いている。県の動向を注視していきたい。

**問** 停電時でも上水道は断水を回避できた。停電に備えて、どのような対策をとっていたのか。

**答** 本市では、一部の地域を除き、高低差を利用した自然圧で配水する仕組みとなっている。台風による停電に備え、事前に高台にある配水池の貯水量を平常時より10%程度多く蓄えて、停電になってもおおむね12時間は配水できるよう対策をとっていた。

**問** 市役所は停電時においても業務が行えるのか。

**答** 市役所には自家発電装置があり、停電の際には自動的に切り替わる。市民課などの窓口業務、防災業務など、停電時においても一定の業務が行えるよう対策をとっている。



**問** 最大補助率9割となる「被災農業者向け経営体育成支援事業」の要望受付書の発送数と提出者数は。

**答** 農家への発送数は3512通、11月末日現在での書類受付件数は235件。

**問** 書類提出にあたり、台風被害の証拠となるビニールなどをすでに片付けてしまい、写真がない場合の対応は。

**答** 現地確認書や修繕の見積書・発注書、修復後の写真で対応する予定。

**問** 台風による長時間の停電は農業・畜産業にとって死活問題。非常用電源整備への補助を国・県に働きかけるべきではないか。

**答** 多種多様な非常用電源の確保は重要な対策と考える。酪農・肉用牛・養豚は最大2分の1の補助が受けられる。施設園芸も高度化が見込まれるため、農協などと連携して国・県への要望を検討する。

### 台風24号等による農業被害の支援策について

## 農業・畜産業者に非常用電源整備への補助は

酪農・肉用牛・養豚は補助率2分の1



河邊 正男  
日本共産党田原市議団